

### 今週の記事 pickup 軽量骨材高稼働で故障懸念……2面

新潟生コン工組・協組が技術講習会共催……2面  
不二高圧コンクリート 岸川健太郎社長に共……3面  
共和コン、3Dプリンタ工場製品に活用……3面  
太平洋マテ、「新型袖壁増設補強工法」開発……4面  
特集 福岡県生コン工組創立50周年……4～5面  
特集 日鉄高炉セメント設立25周年記念……6～11面

日本メサライト工業は都内の高層ビル等の軽量コンクリート物件の増加に際し人工軽量骨材の出荷対応に努めるが、故障により生産休止する事態になると警鐘を鳴らしている。

## 生コン連理事長会議で防衛省が講演

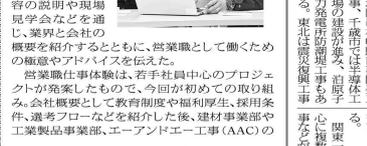
### 「自衛隊施設の強靱化」



11月1日に赤松で開催された生コン連理事長会議は、防衛省整備課長による別題「自衛隊施設の強靱化に向けて」の講演が中心であった。防衛省の施設は、自衛隊の活動を支える重要な役割を担っており、その強靱化は国家の安全と防衛力の向上に不可欠である。講演では、自衛隊施設の現状と課題、強靱化のための技術的アプローチ、および最新の建設技術の紹介が行われた。

## 学生認知度向上へ A&M 営業職仕事体験を初開催

若手社員が営業職の内容や一日の流れなどを説明した。AACの仕事紹介では、実際の宿舎施設の図面を使用して学生と職員の作業を体験し、営業の仕事の一部を体験できる時間を設けた。



学生は「担当の先生の熱いお話を聞いて、会社で働くイメージが持てました。営業の仕事は、人と人をつなぐ大切な役割があると感じました。また、現場での作業体験も大変貴重な経験でした。今後も、学生と企業の交流を深めたいと思います。」と感想を述べた。

## セメント国内販売

### 11月は5.8%減293万ト

### 27カ月連続 関東二区と北陸は増加

11月の国内販売量は前年同月比5.8%減の293万トであった。セメント販売の集計は12月15日現在で3.5%減である。内訳は、関東二区は前年同月比1.2%増の102万ト、北陸は前年同月比1.5%増の105万ト、その他の地域は前年同月比4.5%減の86万トであった。関東二区と北陸は27カ月連続で増加している。

## 平野副社長が社長昇格

### 25年4月1日経営を一層強化充実

取締役社長に昇格した平野副社長は、社長として経営を一層強化充実させる方針を示した。平野氏は「社長として、社員一人ひとりの成長を支援し、会社の発展に貢献していきます。また、社会への責任を果たし、持続可能な社会の実現に貢献していきます。」と決意を述べた。

## 尾崎秀典 尾崎秀典

### 尾崎秀典

尾崎秀典氏は、セメント業界の発展に貢献するべく、様々な取り組みを行っている。特に、環境に優しい製品の開発と、社会への貢献に力を入れている。尾崎氏は「環境と社会の両方を重視し、持続可能な成長を実現していきます。」と決意を述べた。

## 生コン需要増に期待

### マスプラ作成し再編等実施

生コン需要の増加を期待し、マスプラを作成し再編等を実施する。これは、生産効率の向上とコスト削減を目的とした取り組みである。また、品質の向上と顧客サービスの改善にも取り組んでいる。

## 自採得状況

### 月採70億円

自採得状況は月採70億円と好調である。これは、生産量の増加と価格の安定によるものである。今後も、生産効率の向上とコスト削減に取り組んでいく。

## セメント「第79回」技術大会

### 一般研究発表を募集

セメント「第79回」技術大会の一般研究発表を募集している。これは、最新の技術と研究成果を発表し、業界の発展に貢献するための機会である。興味のある方は、速く申し込みを。

## セメント協会が2025年1月1日より

セメント協会が2025年1月1日より、新たな取り組みを開始する。これは、業界の発展と社会への貢献を目的としたものである。詳しくは、協会のウェブサイトをご覧ください。



取締役社長に昇格した平野副社長



尾崎秀典氏

# セメント新聞

発行所 セメント新聞社  
〒800-0001 福岡県福岡市東区博多駅前2-12-7 606  
電話 092-3606421  
URL https://www.cement.co.jp/  
創刊日 1954年 42号発行  
セメント新聞社 〒800-0001

### 生コンプラントを 灰処理プラントへ

灰を安定化処理し  
道路材を製造

※FKGコーポレーション  
0958-4611264  
http://www.fkg-cement.co.jp

### お知らせ

年末年始の休暇に伴い、セメント新聞は12月30日付を休刊いたします。次号2025年1月6日付は34ページ建てで発行します。

## 50th Anniversary

# 福岡県生コンクリート工業組合

FUKUOKA READY-MIXED CONCRETE INDUSTRIAL ASSOCIATION

おかげさまで設立50周年を迎えました

理事長 中島 辰也

福岡市博多区博多駅前1丁目11-5アサコ博多ビル5階  
TEL 092(461)1411 FAX 092(475)6902

副理事長 永松 高詩	北九州支部 (北九州広域生コンクリート協同組合)
副理事長 藤嶋 亮介	飯塚支部 (飯塚生コンクリート協同組合)
副理事長 藤嶋 達哉	田川支部 (田川生コンクリート協同組合)
副理事長 中島 辰也	福岡支部 (福岡地区生コンクリート協同組合)
副理事長 本田 智	両筑支部 (両筑生コンクリート協同組合)
副理事長 原 裕	筑後支部 (筑後地区生コン販売協同組合)

# 日本セメント工業 高稼働で故障懸念

## 打設時期・工程調整を

日本セメント工業(株)は、国内の需要が高まり、生産設備の稼働率が過去最高水準に達している。この高稼働が続くことで、生産設備の故障リスクが高まっている。同社は、打設時期や工程の調整を行い、生産設備の稼働率を維持しながら、品質の向上を図る方針だ。

同社は、国内の需要が高まり、生産設備の稼働率が過去最高水準に達している。この高稼働が続くことで、生産設備の故障リスクが高まっている。同社は、打設時期や工程の調整を行い、生産設備の稼働率を維持しながら、品質の向上を図る方針だ。



米田弘明さん

### 「繊細で奥深い」仕事

#### 北海道太平洋コン

##### ラジオでやりがい、魅力発信

北海道太平洋コンクリート(株)の米田弘明さんは、ラジオ番組で会社の魅力を発信している。米田さんは、現場での仕事は「繊細で奥深い」と語る。現場では、天候や気温の変化によって、コンクリートの打設条件が厳しくなる。米田さんは、現場の状況に合わせて、最適な打設方法を提案し、品質を確保している。

米田弘明さん(北海道太平洋コンクリート)は、現場での仕事は「繊細で奥深い」と語る。現場では、天候や気温の変化によって、コンクリートの打設条件が厳しくなる。米田さんは、現場の状況に合わせて、最適な打設方法を提案し、品質を確保している。



三友泰彦さん



三友泰彦さん

### 組工 良好なコンクリート構築

#### 技術講習会「心絆」を共催

組工(株)は、コンクリート技術の向上を図るため、技術講習会「心絆」を共催する。講習会では、最新のコンクリート技術や、現場での実践的なノウハウを学ぶことができる。組工は、今後もコンクリート技術の向上に貢献していく方針だ。

### 62工場が合格に

#### 東京品監会議

東京品監会議(東京品監)は、24年度品監報告書の審査結果を発表した。審査対象となった62工場が、すべて合格に認定された。これは、品監の信頼性を示す重要な成果だ。東京品監は、今後も品質向上を促進していく方針だ。

### 21社36工場を合格に

#### 茨城品監会議

茨城品監会議(茨城品監)は、24年度品監報告書の審査結果を発表した。審査対象となった21社の36工場が、すべて合格に認定された。これは、品監の信頼性を示す重要な成果だ。茨城品監は、今後も品質向上を促進していく方針だ。

### 自由席

#### 生活を支える素材

自由席では、生活を支える素材としてのコンクリートの重要性を語る。コンクリートは、建築だけでなく、インフラや環境保護にも欠かせない素材だ。自由席では、コンクリートの多岐にわたる用途や、最新の技術動向について詳しく解説する。



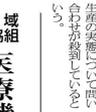
西村隆太さん



西村隆太さん



西村隆太さん



西村隆太さん

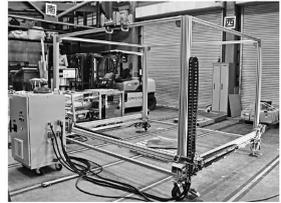
**実務に必要な技術資料を収録**      **作業服のポケットに入るサイズ**      **マンスリーとウィークリーに対応!**

共和コンクリート工業

SDGs工場製品に活用

技術研究所で開発を進める

共和コンクリート工業(北相模郡市)は、技術研究所(北海道旭川市)で、再生骨料・道路土木構造物用研究開発(取得)と、低炭素化・脱炭素化に向けた材料研究を進めている。このほか、技術研究所(建設)3Dプリンタで、再生骨料・道路土木構造物用研究開発(取得)と、低炭素化・脱炭素化に向けた材料研究を進めている。



導入した「PolyuzeZero」

導入した「PolyuzeZero」は、当社が得意とする工場の建設に活用されている。再生骨料・道路土木構造物用研究開発(取得)と、低炭素化・脱炭素化に向けた材料研究を進めている。このほか、技術研究所(建設)3Dプリンタで、再生骨料・道路土木構造物用研究開発(取得)と、低炭素化・脱炭素化に向けた材料研究を進めている。

二次製品談話室  
「中間経理士0」...  
次期中計は「人的投資」

西谷工業 左官の二歩奥へ 向の丘工業で出前授業

西谷工業(東京都葛飾区)は、11月23日(土)、向の丘工業(千葉県市川市)で出前授業を行った。講師は、西谷工業の左官技術者で、向の丘工業の現場監督を務める。授業内容は、左官の基礎知識から、現場での実践的な技術まで、幅広く行われた。



出前授業の様子

出前授業の様子... 講師は、西谷工業の左官技術者で、向の丘工業の現場監督を務める。授業内容は、左官の基礎知識から、現場での実践的な技術まで、幅広く行われた。

不二高圧コンクリート 岸川 健太郎社長



不二高圧コンクリート(熊本県熊本市)は、1965年9月の創立以来、半世紀以上にわたってプレキャストコンクリート(PC)の製造・販売を通じて社会インフラの整備に貢献している。2020年からはSDGsをチャレンジ目標として取り組んでいる。2025年に創業60周年を迎える同社の岸川社長に経営環境や今後の展望などをお聞きした。

低炭素コンクリート拡充 来年初創業60周年迎える

不二高圧コンクリートは、創業60周年を迎えるにあたり、低炭素コンクリートの拡充に取り組んでいる。来年初に創業60周年を迎える同社、岸川社長に経営環境や今後の展望などをお聞きした。

小川原セメント工業 産学連携で認知度向上 プランター制作に協力

小川原セメント工業(茨城県水戸市)は、産学連携で認知度を向上させるため、プランター制作に協力している。この取り組みは、地元大学との連携を通じて行われている。



産学連携で認知度向上

回覧案内... 「社長就任にあたっては、コミュニケーションの量・質両面の不足、脆弱なコンプライアンス・ガバナンス体制、不十分な資源配分の3点を課題と認識し、これらの課題解決がまず必要との認識で経営に取り組みだ」と話すのは、三菱マテリアル小野直樹社長。2018年に社長に就任し、このほど社長退任と4月からの非常務執行取締役就任が発表された。会場で社長時代の取り組みを振り返って、会場で「不十分な資源配分の対策として、事業ポ

目指す姿の実現に 三菱マテリアル 小野 直樹社長

トフォリオの最適化を進めた。セメント事業の分社化や子会社のマントヘルテックス山への出資、小名浜製鉄所の100%子会社化などを進めて、耐を中心とした資源循環体制の強化に努めてきた。また日本国内では再生可能エネルギー供給拡大のため、安比地熱発電所の建設などを通じて、当社の目指す姿の実現に取り組んできた」

2023年のセメント関連業界の動向を一冊に集約
セメント年鑑 第76巻
●国内セメントの生産・需給・流通・経営から世界の動向まで
●石灰石・生コン・コンクリート製品・骨材・混和剤(材)の動きを紹介
●関連する統計情報も網羅
●名簿はセメント各社や各業界団体の最新データを掲載
■発行: 2024年10月31日 ■定価: 37,400円(本体34,000円+税)
■送料: 770円
ホームページからお申し込みいただけます URL https://www.cement.co.jp

# 委員会設置



中島 白也 理事長

## 対応すべき課題山積 中島氏 次代の業界担う礎築く 柏木氏

福岡県生コン工組は、今年で創立50周年を迎え、その歴史を振り返り、今後の発展に向けての課題を抽出し、対応策を模索している。中島理事長は、この機会に、業界の現状と課題について、記者会見を開き、今後の業界の発展に向けての課題を抽出し、対応策を模索している。中島理事長は、この機会に、業界の現状と課題について、記者会見を開き、今後の業界の発展に向けての課題を抽出し、対応策を模索している。

## 福岡県生コン工組 創立50周年

福岡県生コン工組は、今年で創立50周年を迎え、その歴史を振り返り、今後の発展に向けての課題を抽出し、対応策を模索している。中島理事長は、この機会に、業界の現状と課題について、記者会見を開き、今後の業界の発展に向けての課題を抽出し、対応策を模索している。

中島理事長は、この機会に、業界の現状と課題について、記者会見を開き、今後の業界の発展に向けての課題を抽出し、対応策を模索している。中島理事長は、この機会に、業界の現状と課題について、記者会見を開き、今後の業界の発展に向けての課題を抽出し、対応策を模索している。



今年1月にSDGs宣言

SDGs宣言の概要と、業界への影響について説明している。

SDGs宣言の概要と、業界への影響について説明している。

## 札幌で技術講演会 CN技術・知見の共有へ



札幌で技術講演会開催

札幌市で「コンクリート技術講演会」が開催された。この講演会は、最新のコンクリート技術と知見を共有し、業界の発展に貢献することを目的として開催された。

## 洋平 洋壁特化グラウト開発 新工法の普及展開図る

洋平洋壁特化グラウトの開発が完了し、新工法の普及展開を図る。この新工法は、従来の工法に比べて、施工が容易で、コスト削減が期待できる。

洋平洋壁特化グラウトの具体的な特徴と、今後の展開について説明している。

## 協会 利用拡大へ「追い風」 第18回講演会開く

協会が主催する「利用拡大へ」の講演会が、第18回開催された。この講演会では、最新の技術と知見を共有し、業界の発展に貢献することを目的として開催された。

講演会の内容と、今後の展開について説明している。

## 企業だより

- 企業だより: 各企業の最新ニュースや活動について紹介している。

### ハイブリッド 混和剤

目指したのは「丈夫で長持ち」。

乾燥収縮の低減でひび割れを抑制、耐久性を向上。  
過度なブリーディングを抑え、より緻密な組織へ。  
高い減水性能で扱いやすく、施工不良のリスクも低減。  
高品質なコンクリートは建設廃材を減少させ、環境にも貢献。

高機能AE減水剤(増粘剤一液タイプ) チューポール HP-70  
高機能AE減水剤(収縮低減タイプ) チューポール SR  
AE減水剤(高機能・高保持タイプ) チューポール EX180  
AE減水剤(高機能・ブリーディング低減タイプ) チューポール EX60LB  
AE減水剤(高機能・収縮低減タイプ) チューポール LS

### セメント新聞の新しい読み方がはじまる

## セメント新聞 電子版

cement press DIGITAL

料金プラン	
シングルプラン【電子版のみ】	42,240円/年(税込)
ダブルプラン【宅配版+電子版】	48,840円/年(税込)

現在お支払いの宅配版購読料に **6,600円追加** でご利用になります。

宅配版から電子版に切り替え 42,240円/年(税込) (宅配版と同額)

まずは1ヵ月無料試読から 詳細はセメント新聞社ホームページ URL <https://www.cement.co.jp>

# 環境変化へSDGs宣言し新たにCN



## 創立50周年によせて

全国生コンクリート工業組合連合会  
斎藤 昇一 会長

世界的に脱炭素社会が加速する中、23年以降は九州、東北、中部、北陸、中国、四国、近畿、関東、北海道の地方の、生コンクリートの需要は、増加傾向にある。生コンクリートの需要は、増加傾向にある。生コンクリートの需要は、増加傾向にある。

## 全国的に模範となる活動

### 来年はサテライトに出場を期待

全国的に模範となる活動。全国的に模範となる活動。全国的に模範となる活動。全国的に模範となる活動。全国的に模範となる活動。



中島辰也理事長(右)と柏木武春青年部長が将来展望を語る

## 魅力PR 青年部の役割

スラッジ水、回収骨材活用  
中島 辰也 氏

スラッジ水、回収骨材活用。スラッジ水、回収骨材活用。スラッジ水、回収骨材活用。スラッジ水、回収骨材活用。

10月には福岡で定期総会があり、SDGsの対応策を議論した。10月には福岡で定期総会があり、SDGsの対応策を議論した。10月には福岡で定期総会があり、SDGsの対応策を議論した。



福岡県生コンクリート工業組合

## 「CO舗装普及拡大を」

### 技術講習会で2講演



約90人が参加

CO舗装普及拡大を。CO舗装普及拡大を。CO舗装普及拡大を。CO舗装普及拡大を。

### 歴代理事長

初代	阿部 元一	9代	藤嶋 令吉
2代	田中 耕介	10代	伊藤 奎輔
3代	有田 毅	11代	野見山 優
4代	田中 耕介	12代	萩野 順司
5代	上田 進	13代	野見山 優
6代	村本 泰敏	14代	後藤 英司
7代	末松 徳郎	15代	中島 辰也
8代	安川 長治		

### 歴代青年部長

初代	林 宗一	5代	原 裕
2代	鶴田 達哉	6代	次郎丸 隆
3代	本田 智	7代	江崎綱太郎
4代	伊藤 敏浩	8代	柏木 武春

## 福岡県生コン工組 創立50周年

省資源・省エネルギー・CO<sub>2</sub> 低炭素社会の実現に貢献

日鉄高炉セメント株式会社

もっと未来のために

トクヤマは新たな価値を創り出してゆきます

世界で地産地消

太平洋セメント

信頼の製品

麻生セメント

清新産業株式会社

代表取締役 吉森 恵一

才田砕石工業株式会社

代表取締役 才田 善之

博多海砂採取協業組合 博多海砂販売協同組合

代表理事 斎藤 通直









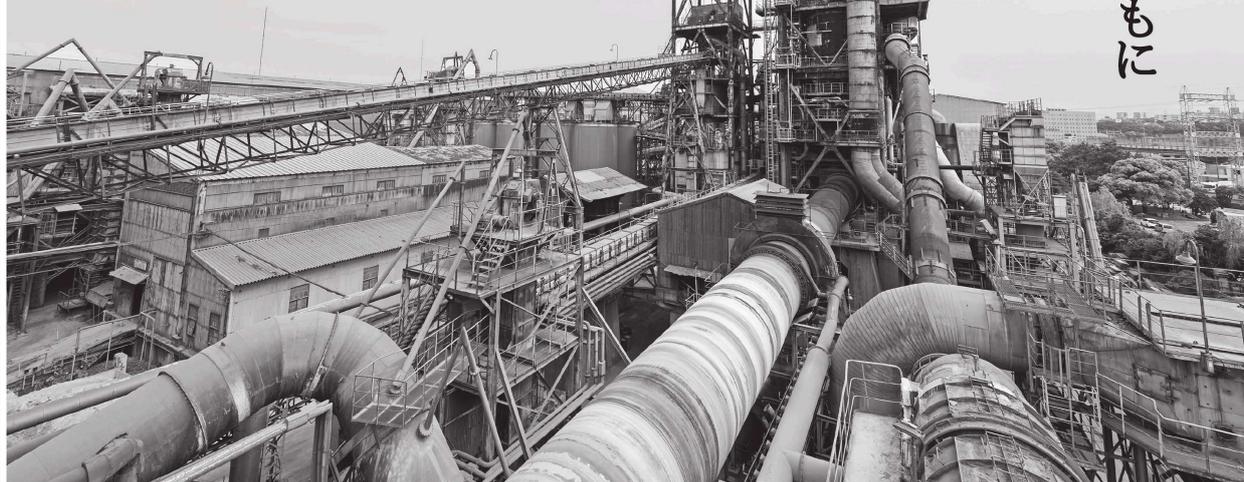




1910年 福岡県北九州の地において、資源活用を標榜し事業を開始し幾星霜、その間、エネルギーや市場の大きな変化という荒波を幾度となく受けるも取引先や周囲の方々に支えられ乗り越えることができました。

1999年 現在の「かたち」となり、新たな出発をしてから本年度25年を迎え、資源活用に加え、CO2削減へ1歩前に踏み出す会社としてこれからも力強く進んで参ります。

百有余年  
高炉スラグとともに



人と社会と  
未来をつなぐ

セメント・生石灰の関連製品の創造、普及を通して、社会の発展に貢献します。



※ スラグとは鉄をつくる時に発生する副産物です。

**日鉄高炉セメント株式会社**

〒803-0801福岡県北九州市小倉北区西港町16番地 TEL:093-563-5100 <https://www.kourocement.co.jp>